

項目	小項目 (重点目標)		評価指標及び目標値		評定	評価資料	評価	アンケート結果				学校による考察・改善方策
								4	3	2	1	
人権・同和教育・特別支援教育	5	人権・同和教育	(1)	自分のよさや他人のよさを認め合い、支え合う仲間づくりができているか。	A	児童アンケート	◎	78%	18%	4%	0%	児童の8割近くが最もよい評価をしており、保護者・教職員も全員が肯定的評価だった。学期毎に行っている「心のアンケート」でも、「自分にはいいところがある」と回答している児童がほとんどで児童に自己肯定感が育ってきていることが分かる。しかし、否定的な児童がいることを真摯に受け止めなければならない。自尊感情を育む指導や、互いを思いやり、尊重し、心のつながりを感じることでできる学級経営を推進するとともに、いじめを生まない学校風土を醸成していきたい。
						保護者アンケート	◎	56%	38%	0%	6%	
						教職員アンケート	◎	72%	28%	0%	0%	
	6	特別支援教育	(1)	学校は、校内委員会を適宜開き、教職員の共通理解と協力体制のもと、適切な支援ができているか。	A	教職員アンケート	◎	58%	28%	14%	0%	毎月の職員会議の際、児童一人一人を見つめた課題や指導の成果を話し合う場を設けている。全ての教職員が発言し、情報交換をしながら共通理解を図ることで、全教職員が同じ意識で指導や支援に当たることができている。トラブルの際には臨時に話し合いの場を設け、対応策を検討している。今後も外部関係諸機関との連携も図りながら、一人一人を大切にできるきめ細やかな指導・支援を心掛けたい。
安全管理・施設設備	7	安心・安全な学校づくりの推進	(1)	学校は、校内及び通学路の安全点検や避難訓練を適切に実施し、地域とも協力して児童の安全確保に努めているか。	A	教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%	毎月安全点検を実施し、改善が必要な箇所については速やかに対応している。通学路の点検は、登下校の指導時に行うとともに、保護者とも連携し、多くの人の視点で点検を行った。避難訓練は、災害発生時に児童自らが判断し、適切な行動をとることができることを目指して行っている。今後も、児童の安全を第一に考えた取組をしていきたい。
			(2)	学校は、施設・設備、教材・教具が効果的に活用され、環境整備に配慮しているか。	A	保護者アンケート	◎	80%	20%	0%	0%	本年度は、3年に1回の備品監査が実施されることに伴い、例年より細かく教材・教具の点検・確認を行った。また、月に1回、安全点検を行い、施設の修繕をしたり、随時、備品・消耗品等の購入をしたりした。今後も、誰もが使いやすい教育環境を整え、必要なものの購入を進めたり、有効に活用したりしたい。
						教職員アンケート	◎	58%	42%	0%	0%	
						地域住民アンケート	◎	75%	25%	0%	0%	
研修・業務改善	8	教職員の資質と指導力の向上	(1)	教師は、授業改善に努め、その都度反省・評価をし、授業に生かそうとしているか。	A	教職員アンケート	◎	58%	42%	0%	0%	児童一人一人の学力向上、生きる力の育成を目指して校内研修に取り組み、指導方法の工夫、授業改善に努めている。本年度は、一人一授業研究で算数科の指導を中心に、校内授業研究を進めた。また、新しい研究協議の方法やタブレットの活用方法などを取り入れ、研修主任を中心に工夫しながら研修を進めることができた。
		業務改善への取組	(2)	教職員の働きがいづくりに向けて、具体的な業務改善を図っているか。	A	教職員アンケート	◎	43%	57%	0%	0%	教職員のウェルビーイング向上や働きやすさと働きがいを両立する職場づくりに努めた。小規模校の強みを生かし、児童とゆとりをもって対話する時間の確保、研修の時間だけでなく、研究授業や教員間の授業交流を通して、より良い授業実践に向けての時間を確保することができた。また、教職員同士が積極的に対話をする雰囲気づくりや家庭・地域と共に活動する場を多く設け、つながりを大切にすることができた。
保護者・地域住民との連携	9	開かれた学校づくりの推進	(1)	学校は、公民館や老人会など、関係団体との連携に努めているか。	A	保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	ふるさと交流会など、様々な行事を行う際に地域の方々や公民館、関係機関等に案内を出したり協力をお願いしたりした。多くのの方々が本校の児童のために積極的に協力してくださっている。また、ほたる祭りや公民館祭りなどの地域行事に積極的に参加することで、児童にはふるさとを大切にしていこうという気持ちが育っている。交流活動を工夫し積極的に連携することで、よりよい交流を図っていきたい。
						教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%	
						地域住民アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	
			(2)	学校は、学校(学年)だより、保健だより、PTA広報紙、ホームページなどで、学校の情報を積極的に発信しているか。	A	保護者アンケート	◎	94%	6%	0%	0%	ホームページを随時更新し、翠校の魅力や翠つ子の活動の様子を紹介、発信している。保護者だけでなく地域や外部からの反響も大きい。学校だよりも毎月発行し、地域の方々に回覧することで学校の取組を紹介している。また、特徴的な行事の際には、地域の方々に学校行事への参加や協力を呼び掛け、地域の方々と共に築く学校づくりに努めることができた。
						教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%	
						地域住民アンケート	◎	93%	7%	0%	0%	
			(3)	学校は、個人情報を適切に管理するとともに、その公開に対しては十分に配慮しているか。	A	保護者アンケート	◎	93%	7%	0%	0%	児童の個人情報の取り扱いについては、校内で取り扱い規定を作成し、慎重に対応している。児童名や写真などの個人情報に関しては、年度当初に各保護者から同意書の提出を受け、ホームページ等で公開している。報道機関や広報紙等の外部機関において個人情報が一部公開されるときには、その都度保護者に連絡し、事前に了承を得るようにしている。
						教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%	
						地域住民アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	
	10	地域に根ざした特色ある教育活動の推進	(1)	学校は、地域の自然や文化、人材など地域資源を生かした体験活動を進めているか。	A	保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	地域に学びながら翠力（みりょく）を創造し、翠校ならではの教育活動を学校・家庭・地域が一体となって推進し、みんなの愛顔（えがお）が輝く翠校づくりを目指している。保護者・地域の評価も昨年度よりも高くなった。今後も工夫と改善を加えながら体験の機会や話し合う場を多く設定し、社会の中で力強く生き抜く力を身に付ける支援を続けたい。
						教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%	
						地域住民アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	
学校運営協議会委員の総評					本年度の教育活動について、学校運営協議会委員の皆様と話し合った結果、児童や教職員の取組に関して多くの成果が見られることを確認した。上級生が下級生の世話を進んで行い、思いやりや責任感のある行動が日常的に見られること、学校行事に一生懸命取り組み、協力しながら活動する姿勢が育っていることは、児童の成長を示す大きな成果である。また、地域行事に保護者が積極的に参加するなど、学校・家庭・地域の協力体制が着実に整いつつあることも評価できる。加えて、進んで挨拶をしたり学校のルールを守ったりする児童が多く、異学年や男女の区別なく仲が良いことから、落ち着いた規律ある学校生活が維持されていることが確認された。							
					一方で、今後の改善が望まれる課題も挙げられた。児童が自分の考えを言葉で表現する力に課題が見られ、授業や話し合い活動において自分の考えを十分に伝えられていない場合があることや学校での読書活動の様子が保護者に十分伝わっておらず、家庭での読書習慣が十分に定着していないことが指摘された。また、家庭学習の定着について保護者と教師で認識を共有し、保護者の意識を高める必要があること、さらにコミュニティ・スクールの存在意義を十分に理解していない方がいることも課題として確認された。							
今後は、児童や保護者、地域の方々が「おらが学校」「地域の学校」「子どもとわたしの学校」という意識を持てるよう、引き続き、学校行事や地域活動の機会を通して愛着や責任感を更に高めていくことが重要である。これからも学校・地域・家庭が連携し、学習習慣の定着や表現力の向上、読書活動の充実を支える体制づくりを一層進めていくことが望まれる。総じて、本校の教育活動が着実に成果を上げつつあることを評価するとともに、今後も課題解決に向けた協働的な取組を継続していくことを期待する。												